

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6・49	GHのEVを常に施錠していて(拘束していて)、一人ひとりが希望にそった外出の確保ができていない。	EV前で混乱している利用者の状況を再確認する。外食場所・遠足の行き先(食べたい物・行きたい所)を利用者参加の活動会議の開催を実施する。	5月の活動会議開催時は、利用者参加型の会議の開催。GHのEV前で拘束されていると感じている利用者を把握し、個別に対応が取れるように居室担当者とCMIに情報提供する。	12ヶ月
2	45	1人ひとりの希望にそった入浴支援ができていない。	入浴状況を再確認し、楽しんで貰っているかの情報を共有する。浴槽の湯も楽しんで貰えるように、活動会議担当者が季節感を取り入れた企画を検討する。	今までの入浴の取り組みについて再確認する。好評だった企画を定期的に導入できるようにし、新しい企画については、翌月の活動会議開催時に評価する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。